

令和7年度「市民と議会の意見交換会」報告書（速報）

（1回目）班名：第1班

テーマ 「マチのにぎわいと公共交通について」

開催日時	令和7年9月30日（火） 午後4時から
開催場所	港西コミュニティセンター
出席議員	司会：村上雅彦議員 記録：戸水議員 オブザーバー：村山副議長、野崎議員
参加者名	前田 康太、大懸 信司、澤田 知明、住吉 智也
話し合いの項目等	マチのにぎわいと公共交通について

質問、意見、回答	質問意見等の要旨及び回答の要旨等
意見1	まずは、一つ一つのお店が努力していくことが基本。商店街とはいっても店同士で場所が離れているので、アーケードのようにひと歩きですべて見られるわけでもない。自分は特定の店は利用しているが、車が運転できる今のうちは、滝川市や札幌市に買い物へ行くことが多く、市民としては反省もある。イベントも大事ではあると思うが、それぞれの個性やそのお店にしかない限定のものなど、努力が大切ではないかと考える。
意見2	遅い時間に営業している店は、タクシーがコロナ禍前のように運行されていないため、今でも厳しさは全く変わらない現状がある。組合としてもタクシー会社へ要請書の提出を検討するなど方策を考えているが、公共ではなく民間が行っていることなので難しいところがある。タクシーの運行は民間でやられていて難しい部分があるため、行政でもテコ入れをしてほしい。
回答2	タクシーについては、12時を過ぎるとなくなってしまうため代行を頼む方が増えているよう。タクシーの運転手もその日によっては7人しかいなく、車はたくさんあるが運転手がいなかったため車を出せないと言っている。また、12時を過ぎると電話も1、2本しかかかってこない日もあるということで、現状の突き合わせをしっかりとしていく。 バスの運転手確保に向けた取組は行っているが、タクシーの運転手確保についてもどうしていくのか、しっかりつかむ必要がある。
意見3	ここ最近は、2次会に流れず1次会で終わってしまうことが増え、お客さんが回転しなくなっている。組合としてビアガーデンをやったり、行政に協力してもらいスタンプラリーなど色々取り組んでいる。行政からの助成金もあるが、申請のハードルが高く労力もかかるため、実際に助成される金額のことを考えるとなかなか思い切ったことが出来ない。近隣の町では結構派手にイベントをやっているようだが、組合単体での予算組みでは厳しいのが現状。大きなことというわけではないが、楽しいイベントを増やして市民が交流できる場をつくることも必要だと考える。

意見 4	にぎわいという事で言えば、人口減少が著しくなっている。出生数から見ると子どもの数は減少しており、この先減少しても増えることはないと思う。となれば、現在学校は5校あるが、1校あれば十分なのではないか。ただ、特別支援学級も必要であるので単純には言えないと思うが。今後子どもも減り、保育園、幼稚園も減っていく、そして職員が減るとにぎわいが減るなどと直結している。 移住政策にも取り組んでいるが、もっと留萌市はこんな町だということを宣伝していかなければならないと思う。
意見 5	留萌市は移住政策が弱いと思う。移住を考えている人は、他の町と留萌市を比べるわけなので、もっと宣伝が必要だと思う。そこで留萌市は負けてしまっているのはいいか。ほんの少しでも突出して良いことを宣伝していく必要がある。 また、移住に関して東京圏からの移住者世帯に100万円を助成する制度があるが、なぜ関西や九州・四国など他地域からでは対象にならないのか、わからない。
意見 6	管内の他自治体の様に出産祝い金を出せないか。遠別町では30万円、苫前町では1人目25万円、2人目30万円、3人目・4人目は50万円の祝い金を出し、人口を増やそうとしている。 また、不妊治療に対しては助成しているが回数に制限があり、体外受精には30万円近いお金がかかるため、そう何回もできる人はいない。決算で余剰金があるのであれば、少しでもここにお金をかけて、留萌市を子育てに特化したまちにしてはどうか。 「子育てしやすいまち」「出産しやすいまち」というラベルがあるだけで全く違う。2045年には人口が10,000人を切る予想だが、少しでもそのカーブが緩やかになる様に、手を打つ必要があると思う。
回答 6	子育てしやすいまちということで、子どもの医療費、保育料、学校給食費など様々あるので、全体を見ながら子育て環境の充実について我々も勉強し、予算の枠内で何が効果的かを見極め選定していき、議論を深めていく必要があると考えている。
意見 7	学生や小さい子どもが賑やかに過ごせるまちという事になると、今の商店街には騒げる場所がない。空き店舗を活用して、子どもたちが集まれる場所を作るとよいのではないか。娘が小学校で5人のダンスグループを組んでいるが、今の街中にはダンスができる場所がない。鏡が1枚あればいいだけなので、練習できる環境を整えば音楽がかかり、若者が踊る。バスが通過すれば練習風景も見られるかもしれない。若者が頑張っている姿に、賑やかさを捉えることもできる。 子どもと大人のくくりで、空き店舗の利用、学生・子どもたちが使える場所を考えてはどうか。
回答 7	商店街の個々の努力と言っても、それらをしっかり集めて線になるような形で作って行くのは行政の手腕ではないかと思うので、我々もしっかり考えて行きたい。
意見 8	高齢者対象のバス運賃無償化は、高齢者にとってはありがたい話だと思う。だが、ここをいくら充実させても行先がないのであれば、利用頻度や利用者は変わらず、にぎわいにはつながらないのではないか。例えば、道の駅を路線に含めるなどして、バスの使用目的などに変化が出るように工夫してみてはどうか。まずは利用して貰うようにしないと、バス路線を増やそうがチケット配ろうが効果は出ないのではないか。
意見 9	夜の街のにぎわいが落ちているのには、タクシーが走っていないことがすごく大きい。解決の為にはライドシェアと乗合タクシーがあると思うが、国土交通省が支援しているのになぜやらないのか。ライドシェアは民間の人が登録すればできるので、12

	時以降も可能だと思う。乗り合いタクシーも網走市などではもう始まっていて、同じ目的地の人たちみんなで乗って行きましょうということなので、可能だと思う。
意見 10	運転代行サービスもあるが、何時間待ちとなると車で来ているからと飲酒運転してしまう人が出て来ないとも限らない。きちんと整備しないと、街のにぎわいだけでは済まない。
回答 10	ライドシェアは様々なやり方があり、国土交通省も慎重な部分もある。これからの議論にはなと思うが、我々も今後進めていくところと認識している。乗り合いタクシーもハイヤー協会などと協議して進めなければならない。
意見 11	ライドシェアは早いうちに手を打たないと、夜の街がどんどん寂れて人が出なくなっていく。 コロナ禍の時そうだったように、一度出なくなってしまうともう出なくなり、店も減り、人ももっと出なくなる。戻すことはすごく難しいが、現状維持するためには、欠けているものを助ければよいのではないか。国の制度を活用して、民間事業者と協議して進めてほしいと思う。
質問 1	留萌市が賑わっていた頃のバスの利用者数は分かるのか。
回答 1	具体的な数字はわからないが、人口が4万人いた頃のバスの利用者はとても多く、通勤や学校帰りなどは乗り切れずに置いて行かれたこともあった。
質問 2	留萌市はこんなに良いまちだとPRしていると思うが、どのような方法で行っているのか。
意見 12	留萌市のPRについては様々取り組んでいると思うが、ホームページなど自分で情報を見に行かなければならないネット上のものもあるが、テレビニュースで取り扱ってもらいにはどうすればよいか、検討するのも一つの手であると思う。 3年前に留萌市が大雪だったとき、全国放送のテレビニュースで取り上げてもらったことがある。その時のふるさと納税が、1か月で18億から21億に上がり、全国各地から注目を浴びた珍しい出来事だった。 テレビニュースに取り上げてもらえるような内容を人工的に仕掛けて行くという考えもあるのではないか。
意見 13	保護者から、吹雪や大雪の日の朝に仕事で子どもより先に家を出るのが心配という声があった。子どもたちのニーズがあった時に、バスに乗せてもらうなどの検討はできないか。どこが費用を負担するかという問題はあるが、子どものニーズがあった時、相乗りなどができないか考えて欲しい。
回答 13	広域交通、地域維持確保の中でそういったところがしっかりと議論されていって方向性が今後出てくるといふふうに考えている。 人口減少の時代に入り、学校も幼稚園もどんどん縮小する方向になっている。一定程度方向性を出しながら削るところは削り、スマートシティ化を見込んでいかなければならない状況になってきている。そのためにはきめ細かい交通体系を作って行かなければならないと思うが、状況を見定めながら議論していく。
意見 14	旧るもいプラザは大きいためわかりにくい、傾いてきている。地盤が弱い所だし、このまま放置していると崩落などの危険性もある。建物の壁が剥がれ落ちるなども近い将来あるのではないか。そうすると、にぎわいのどころの問題ではない。
回答 14	議会でも行政側に話しているが、相手のある話のため行政代執行という訳にはいかず、困っているところ。

意見 15	相手がいるのであれば、相手と交渉すればいいのではないか。
回答 15	本来であれば持ち主の責任にはなるが、様々な複雑な事情により交渉が難しくなっている。
意見 16	それも大事だが、危険だってある。
回答 16	市としては、屋上の柵が落下しないように補強し、バス停があるところも壁が剥がれていた部分を加工するなど対応している。また、市民に対しても危険である旨注意喚起している。
意見 17	交渉が前に進まない状況ということだが、市が買いますと言えばいいだけの話。解体には4～5億円かかると思うが、いくらかかってでもやるべき。このままだと死人が出る可能性だってある。命はお金には代えられない。